

「龍ヶ崎市における少子化対策に関する提言」 を提出しました

龍ヶ崎市議会では、令和6年4月より、全議員で構成する「少子化対策ワーキングチーム」を設置し、少子化対策や子育て支援施策についての調査研究を行ってまいりました。

流通経済大学共創社会学部の佐藤純子教授による講演、龍ヶ崎市役所人口問題対策室や子育て支援の担当職員との意見交換、子育て世帯を対象としたアンケート調査などを実施し、龍ヶ崎市議会として提言をとりまとめ、令和6年10月16日、龍ヶ崎市議会から萩原市長に対し「龍ヶ崎市における少子化対策に関する提言」を提出しました。

今後も、国や県、龍ヶ崎市の動向を注視しつつ、さらに調査研究を重ねてまいります。



龍ヶ崎市における少子化対策に関する提言事項

○妊娠から出産、子どもが成長するまで継続した子育て支援を中長期的な視点をもって推進すること

【取組例】

- ・ 訪問支援の充実
- ・ 障がいのある子どもへの支援
- ・ さんさん館の土日開館の検討
- ・ ファミリーサポートセンター事業、リフレッシュ保育事業の拡充の検討

○こども家庭センターの設置にあたっては、母子保健機能と児童福祉機能の一体的支援を効果的に実施できるよう運営の充実を図ること

【取組例】

- ・ 相談窓口のワンストップ化による相談体制の充実
- ・ 情報の一元化による、児童虐待予防をはじめとした様々な子育て支援の一体的な提供体制の確保
- ・ 関係機関（地域、学校、医療機関など）との連携による包括的な支援ネットワークの構築
- ・ 利用者やその家族の意見聴取によるサービスの改善や新たなニーズへの対応

○子どもの居場所をさらに充実させるため、新たな拠点の整備を検討すること

【取組例】

- ・ 0歳から18歳までのすべての子どもが安全に安心して過ごせる居場所の設置
- ・ 子どもや若者、保護者の相談体制の充実
- ・ 子どもと若者が交流できる機会の創出
- ・ 親同士が交流し学び合うための学習プログラムの検討